



▲海側からみた海岸林



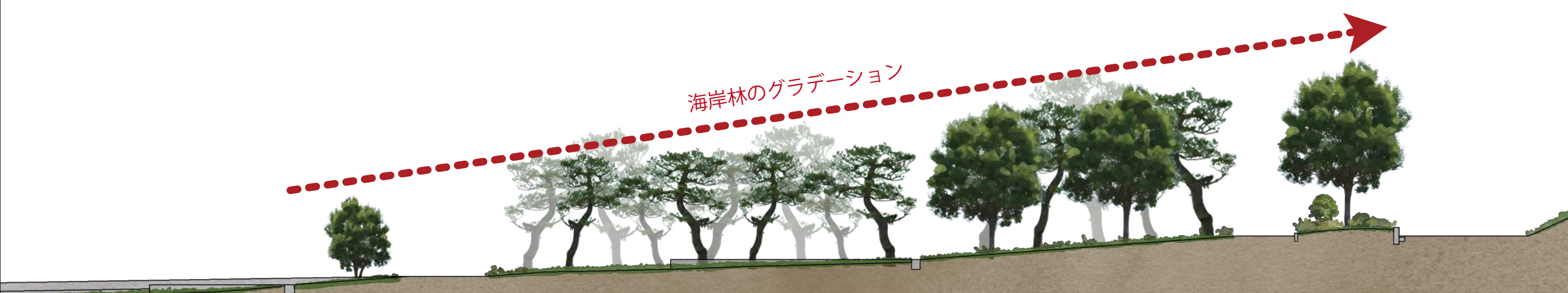
▲商店と植栽が立ち並ぶ商店通り

海の生態系に触れる海岸

04. 海岸林 / 06. マリーナ

対象地南西側の海岸線には、防砂林として機能する「海岸林」と、小舟で海上からの自然観察を行うための「マリーナ」を計画する。

海岸林は松林を中心としながら、近年海岸林で問題視されている、松枯れへの対策として常緑広葉樹との混合林とし、内陸に向けてグラデーションにすることで、町の植栽へと繋げる。海側から木々の高さでも、グラデーションをつけることで、海からは、異なる樹種の樹冠レイヤーが重なる景観が生み出される。



C - C' 着彩断面図 1/200

海へはみ出す港町の生活

05. 商店通り / 07. ダイブベース

対象地北東側の海岸線には、商店が立ち並ぶ「商店通り」と、第1潜堤から第2潜堤の間でダイビングを行うための「ダイブベース」を計画する。

商店通りは、広大な海の景観を利用したレストランやカフェ、海の利用者をターゲットとした、海の家やダイビングショップなどを想定している。それぞれの商店が敷地境界に沿って、海岸を砂浜まで延長して利用することで、町の機能が海へとはみ出していく形をつくることができる。



D - D' 着彩断面図 1/200